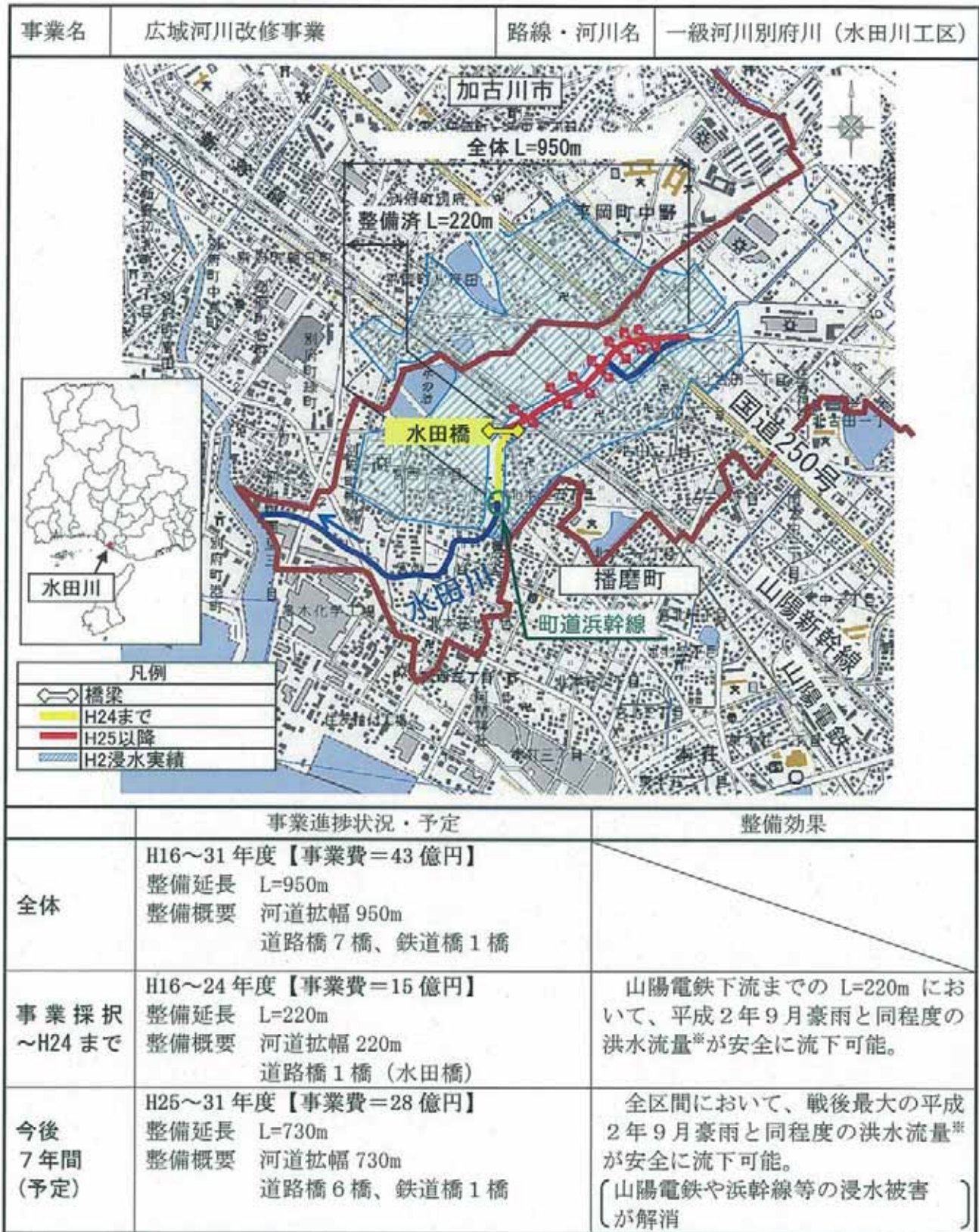


投資事業評価調書（継続：再評価）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 松本 正利 (都市河川係長 山本良太郎)	内線	4408 (4417)	
事業種目	河川事業	新規評価年度	H14	現計画	前回評価時点	
事業名	一級河川別府川 広域河川改修事業 (水田川工区)	河川整備計画策定年度 〔事業採択年度〕 着工年度	H16 (H15)	事業費	43 億円	43 億円
				内用地補償費	18 億円	18 億円
事業区間	加古郡播磨町北本荘 ～加古川市平岡町中野	再評価年度	—	完成予定年度	H31	H24
				進捗率 (内用補進捗率)	36% (58%)	0% (0%)
所在地	加古郡播磨町北本荘～加古川市平岡町中野			残事業費	28 億円	43 億円

事業の目的		事業内容 () 前回評価時点	
<p>当該区間では、平成 2 年 9 月台風 19 号による床上浸水 10 戸、床下浸水 288 戸のほか、その後も平成 16 年 10 月台風 23 号、平成 23 年 9 月台風 12 号により、浸水被害に見舞われている。</p> <p>このため、河道拡幅等による改修により戦後最大の平成 2 年台風 19 号規模の洪水に対して浸水被害を防止し、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保する。</p>		計画流量	50m ³ /s (50m ³ /s) 〔町道浜幹線地点〕
		整備延長	950m (950m)
		道路橋	7 橋 (7 橋)
		鉄道橋	1 橋 (1 橋)
		〔負担割合 国:1/2, 県:1/2〕	
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>平成 16 年、平成 23 年に浸水被害が発生している。</p> <p>【新規評価時点からの事業計画の変更概要】</p> <p>① 河川整備計画にあわせ、事業期間を見直した。</p> <p>② 山陽電鉄・山陽新幹線横断部について、鉄道施設への影響を極力小さくするため、バイパス河道を整備する計画とし、このための計画検討及び管理者協議に時間を要した。さらにこの事業用地の地図混乱や用地交渉の難航により事業期間を 7 年間延長し、完了予定を平成 31 年度とする。</p>		
進捗状況	<p>① 平成 24 年度末までに、全体 950m のうち、町道浜幹線から約 220m の河道拡幅、道路橋 1 橋の改築が完了予定。</p> <p>② 残工事は約 730m の河道拡幅と道路橋 6 橋、鉄道橋 1 橋の改築である。平成 25 年度には山陽電鉄の横断部の改修に着手する予定。</p>		
評価視点	評価結果の説明		
審査会意見及び対応方針 (H14 年度新規評価)	【審査会意見】		【対応方針】
	新規着手時において、被害のあった平成 2 年から時間もかなり経過していることから、関係住民の理解と協力を得て、早期完成に努められたい。		山陽電鉄横断部から下流の人家連坦区間を平成 24 年度に完了する。今後、その上流について、地権者の協力のもと、計画的に事業を推進する。
(1) 必要性	水田川は計画流量 50 m ³ /s に対し、現況が約 1 割の 5.9 m ³ /s しかなく、平成 2 年 9 月台風 19 号、平成 16 年 10 月台風 23 号、平成 23 年 9 月台風 12 号など浸水被害が発生しており、度重なる浸水被害防止に向け、治水安全度の向上が必要である。		
(2) 有効性 ・ 効率性	費用便益比 B / C = 5. 1 山陽電鉄、山陽新幹線横断部については、現況河道の改修と併せて、バイパス河道を新設することにより、鉄道施設への影響を小さくする。		
(3) 環境適合性	河床に滲筋を整備することにより、平常時においても変化のある流れを確保し、多様な生物の生活環境に配慮する。		
(4) 優先性	事業区間において、平成 16 年、23 年と家屋の浸水被害が発生しており、改修が必要である。		
結果評価 の	継続	左の理由 事業着手後も浸水被害は発生しており、事業の必要性が高く、地域住民の安全安心な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。	

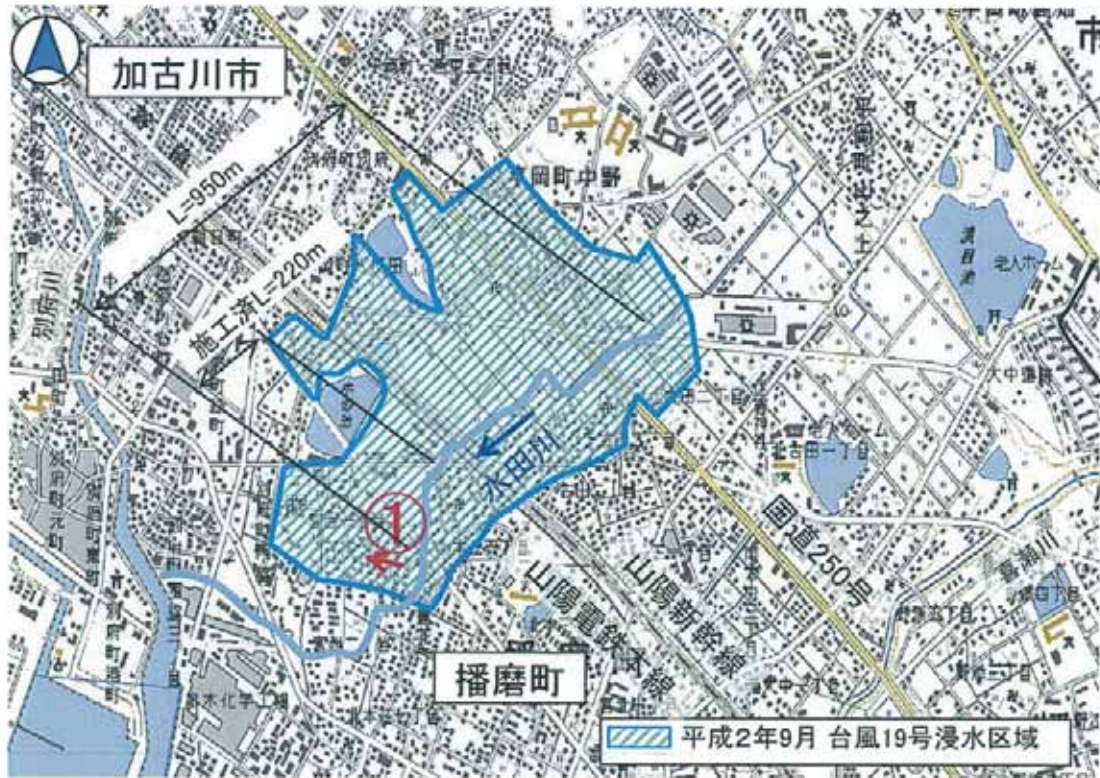
事業進捗状況概要図（継続：再評価）



※加古川水系河川整備計画 水田川の目標流量

出水状況(H2.9 台風19号)

平面図



浸水状況



H2.9浸水実績

床上	10戸
床下	288戸
浸水面積	17ha

出水状況 (H16.10台風23号、H23.9台風12号)



浸水状況

【H16.10台風23号】

【H23.9台風12号】



浸水実績

H16.10 浸水実績	
床上	7戸
床下	33戸
浸水面積	0.2ha

H23.9 浸水実績	
床上	12戸
床下	29戸
浸水面積	0.3ha